

建交労大阪府本部
機関紙
発行元 府本部
電話 06-4800-7115

第27回建交労中央委員会を開催

第27回建交労中央委員会は、1月31日・2月1日(土・日)の2日間、東京都台東区民センターにおいて開催されました。委員会は、森谷副委員長長の開会あいさつで始まり、議長には北海道地方協議会・須貝卓也さんと東海地方協議会・谷藤賢治さんが選任されました。その後、中央執行委員会を代表して足立浩中央執行委員長があいさつ。足立執行委員長は、「高市首相は、今年通常国会の冒頭で衆議院を解散しました。支持率が高い間に解散する、まさ



足立中央執行委員長

に党利党略の解散だと言わなければならぬ。」と述べたうえで「26春闘が始まります。25春闘では全国のみなさんの奮闘によって5桁の賃上げを實現した職場もありましたが、それ以上に物価が高騰しています。物価高騰

を上回る賃上げを實現させるには26春闘においても引き続き大幅な賃上げが必要である。また、経済闘争と同時に政治闘争も重要なたたかいです。今、衆議院選挙の真最中です。委員会でも解散総選挙の特別決議があります。国民・労働者が人間らしい暮らしが出来る社会と平和な日本に変えていくには、選挙に行つて大企業優遇政治とアメリカ言いなり政治を転換させなければなりません。経済闘争と政治闘争を結合させた26春闘に



大阪府本部・本多副委員長

「していこう!」と呼びかけました。そして、廣瀬書記長による「春闘方針案・統一要求基準案・一般経過報告・統一基準額が月額4万円以上、時間給2,000円以上」が提案されました。

各議案が提案された後は、全国の中央委員による討論があり、1日目は18名の方から発言がありました。いずれも、26春闘の構えや具体的な行動、組織拡大・強化、トンネルじん肺訴訟、自家用白ナンバー



の取り締まり強化の問題などの報告があり、春闘方針が補強される内容でした。大阪からは、本多副委員長が発言。本多副委員長は、「2月8日に行う大阪府本部委員会を始める同日の午前中に次世代活動家育成学習会の開催や3月8日に行うトラックパレードの開催と夢洲コンテナヤードでの春闘決起集会」の報告をしました。

2日目も朝一番から討論を再会し、7名の中から発言がありました。討論終了後は、各議案の採決を行い、すべての議案が満場一致で採択されました。

最後に足立執行委員長の団結がんばろう!で締めくくり、26春闘方針が確立され意思統一をはかりました。全体の参加者は76名でした。

第27建交労近畿地方協議会を開催



第27回建交労近畿地方協議会総会は、2月7日(土)午後1時30分から国労大阪会館第二小会議室において開催しました。津村副議長の開会あいさつで始まり、議長には兵庫県選出の村井委員が選出され議事を進行しました。冒頭に近畿地方協議会役員を代表して前村議長があいさつ。前村議長は、「いよいよ26春闘が始まります。建交労

は2月12日で全国いつせいの春闘要求提出日になっていく。言うまでもなく我々労働者の実質賃金が下がり続ける中、物価高騰を上回る賃金引上げをめざして奮闘しなければならぬ。同時に、政治闘争も労働組合にとって重要な運動です。1月27日公示・2月8日投票で行われる衆議院解散総選挙で国民・労働者が人間らしい暮らしが出来る政党との協力が必要です。その為にも選挙に行つて自民党政治を変えなければならぬ。経済闘争と政治闘争を結合した運動で26春闘を旺盛にたたかおう！」と呼びかけました。その後、川口事務局長から議案を一括で提案。休憩後には、討論を行い、各県本部か



ら26春闘の取り組みと業種別での白トラ自家用問題、トラックにおける法律を改正させた成果、トラック運転手の現状などの報告がありました。大阪からは、荻田書記長が大阪府本部の26春闘の取り組み報告がありました。荻田書記長は、「2

026年1月18日(日)に大阪府本部と関西ダンプロ支部共催で行つた新春学習会、2月8日(日)に開催する次世代活動家育成学習会、5月24日(土)に行う一般組合員学習会、3月8日(日)に夢洲コンテナヤードで春闘決起集会を行い、そ

の後に大阪市内をトラック30数台と宣伝カーで市民・府民に春闘アピールする。」などを報告。討論後は、川口事務局長による討論のまとめがありました。そして、各議案の採決を一括の拍手で確認しました。

国労大阪会館第2小会議室

3月8日(日)午前7時 夢洲コンテナヤードで 春闘決起集会を開催

第30回大阪府本部委員会を開催

第30回大阪府本部委員会は、2月8日(日)

午後13時から国労大阪会館1階ホールにおいて開催しました。委員会は、本多副委員長の開会あいさつで始まり、議長には、関西支部・芦崎委員と関西合同支部・太田委員が選出され議事を進行しました。冒頭に執行委員会を代表して前村執行委員長があいさつ。前村執行委員長は、「建交労が組織する企業規模は鉄道以外は、どの業種においても中小零細企業で働く労働者



を組織している関係で大変厳しいたたかいを強いられていると思います。昨年は、一昨年より賃金アップしたところもあると思いますが、物価高騰分を超える賃上げになっていないため、実質賃金ではマイナスとなっている。労働者の生活は苦しくなるばかりの状況だと言えます。半面、自民党政治により大企業や富裕層だけが潤い、圧倒的多数の労働者の賃金が30年間以上も上がらない国にされ、経済成長しない国にされている。春闘勝利の基本は、世論と運動を広げることが鍵、職場と地域から全力でたたかえば普通にも暮らせる社会を実現させよう」と



国労大阪会館1階ホール

呼びかけました。その後、荻田書記長から1号議案・春闘方針案、一般経過報告、大阪府本部春闘統一基準案を提案。2号議案・大阪府本部一般会計・特別会計中間決算報告は前村執行委員長、

3号議案―1・第28回大阪府本部定期大会代議員選出基準、3号議案―2・2026年度選挙管理委員、4号議案・次期大阪府本部役員定数を工藤執行委員が提案し、すべての議案提案を行います。

した。議案提案後は、討論に入り、5名の委員と1名の傍聴参加の方から発言がありました。発言者のすべては、26春闘方針を補強する発言や業種別運動の取り組み、絆ホールディングスの権利侵害、衆議院選挙についての発言などがありました。討論後は、荻田書記長が討論のまとめをしました。議案採決は、すべての議案が満場一致で採択。そして、春闘方針案と2026年春闘スローガンも拍手で確認しました。最後に前村執行委員長による団結がんばろう！を三唱し、26春闘を旺盛にたたかう意思統一をはかりました。全体の参加者は、32名、役員11名、委員19名、傍聴参加2名でした。